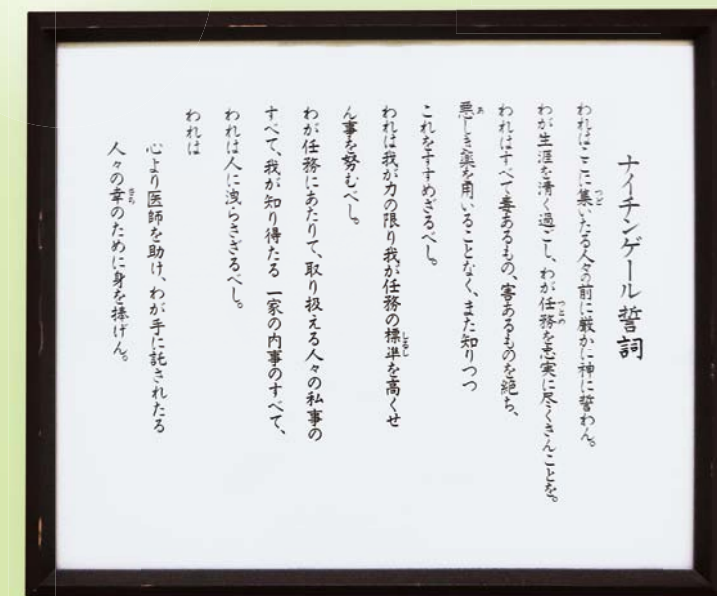




ナイチンゲール像

Index

日生病院看護部のご紹介	2
日生病院看護ステーション	4
診療科案内 乳腺外科、小児科	5
患者様アンケート結果報告	6
ボランティア募集	7
神経科・精神科部長 高橋 励	8
皮膚科東山部長 講演会	9
お薬トピックス	9
ナースの奮闘記	10
栄養管理室通信	10
開放型病院登録医紹介	11
あったかサポートセンターからのお知らせ	12

トピックス

やさしさと心のこもった看護の実践にむけて

安全・安心の看護の提供のために知識・技術を磨き、患者さんにとって何を優先すべきか判断できる看護師の育成に力を入れています。私達は日本生命済生会の基本理念「済生利民」に従い、命を守り、万人の安寧と幸せに貢献するように努めています。

乳腺外科、小児科

チーム医療で患者様の治療にあたり、QOLの向上に努めています。

患者様アンケート結果 患者様からたくさんのお声をいただきました。

あったかサポートセンターからのお知らせ

●平成27年度 第1回ニッセイ市民健康セミナー ～知っておきたい『がん』シリーズ～

日時：平成27年**5月30日(土)** 14:00～15:30
会場：日生病院 別館講堂

講演内容 司会：日生病院 副院長 藤田 征巳

- 1 乳腺外科部長 西田 幸弘
「乳がん検診と最新の話題」
- 2 がん看護専門看護師 畠山 明子
「患者様、ご家族を支える『がん看護相談』」
- 3 がん性疼痛看護認定看護師 小山 佐知子
「がんと診断された時からの緩和ケア」

皆様のご来場
お待ちしております！

●ニッセイ看護フェア

日時：平成27年**5月15日(金)**
14:00～15:30
会場：日生病院 1階外来ホール

身体計測(身長、体重、血圧、体脂肪等)
アロマセラピーやフットケア
等を用意しております。

※乳幼児のミルク相談もあります。

展示イベント 認定・専門看護師の活動紹介



昨年の様子

●ニッセイあったか “七タ”コンサート 開催

日時：平成27年**7月7日(火)**
16:00～16:45
会場：日生病院 1階外来ホール

職員有志によるピアノ、フルート、ハンドベル
等の七タ曲や楽器に合わせての合唱をお贈
りします。ぜひ、ご参加いただき一緒に楽しい
時間を過ごしましょう。

お問い合わせは 地域医療総合窓口 あったかサポートセンターまで 予約不要・参加費無料

外来診療・受付時間

(再診の方は、必ず再診機に診察券を投入してください)

平日(月曜日～金曜日)			
受付時間	初診	午前 8:30～11:30	午後 13:00～15:30
	再診	7:30～11:30	12:00～15:30
診療時間		8:45～	13:30～

※初診の場合は、紹介状をお持ちください。紹介状がない場合は、保険外
併用療養費(選定療養費)2,700円がかかります。
※診療科によっては、完全予約制や休診の日もあります。
詳しくは各診療科におたずねください。

休診日 土曜日、日・祝日、年末年始



当院では病院敷地内全面禁煙となっております。
ご来院の皆様には、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

交通アクセス

- 地下鉄：
中央線・千日前線
「阿波座駅」
下車西側「6号出口」「5号出口」
徒歩約3分
- 自動車：
阪神高速道路では、
「信濃橋」「汐見橋」
「西長堀」「阿波座」
「中之島西」
出入口が便利です。



公益財団法人 日本生命済生会付属

日生病院

(公財)日本医療機能評価機構認定病院



公益財団法人 日本生命済生会

**総合健診クリニック
ニッセイ予防医学センター**

(社)日本病院会 人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価 認定施設

◆人間ドック ◆各種健診

※月～土曜日(完全予約制)

TEL 06-6532-6437(代) FAX 06-6532-6402

http://www.nissay-yobouigaku.jp

〒550-0012 大阪市西区立売堀6丁目3番8号

TEL 06-6543-3581(代) FAX 06-6532-6482

http://www.nissay-hp.or.jp



日生病院は
乳がんの早期発見・
検診・治療の大切さを伝える
ピンクリボン運動を
応援しています。

日生病院看護部のご紹介

日生病院には、スペシャリストナースがいます。

専門看護師・認定看護師とは日本看護協会の認定試験に合格した看護のスペシャリストです。5年以上の実務研修(うち3年は専門分野での実務研修)が必要で、加えて専門看護師は2年間の大学院教育、認定看護師は6か月(615時間)以上の認定看護師教育機関での研修を修了したナースです。専門看護師は病気の症状やつらい治療によって日常生活が影響され、その改善が難しいとされている患者さんやご家族に対して質の高い看護ケアを効率よく提供することが期待されています。また、認定看護師には熟練した看護技術と知識を用いた水準の高い看護ケアが期待されています。



スペシャ
リスト



感染症看護専門看護師とは

患者さんやご家族が安心して治療が受けられるよう病院内での感染症防止を第一の目標として活動しています。患者さんがよりよい医療を受けるためには医師をはじめすべての職員の感染予防も必要です。部署や診療科・病棟を特定することなく病院内全てを清潔で安全な環境に整えるよう活動しています。インフルエンザや感染性腸炎などは一人の患者さんが繰り返して発生することがあります。そういった患者さんに対しては担当する部署の看護師とともに日常生活で気を付けて頂く感染防止行動のご紹介も行っています。

おおの のりこ
大野 典子

がん専門看護師・がん化学療法看護認定看護師とは

がんと診断された時から、患者さん・ご家族は治療選択、治療による副作用、症状の緩和、療養など、がんと向き合い生活する中で様々な問題を抱えることになります。がん専門看護師はご家族の直接ケアを行ったり、看護師からの相談に応じたり、カンファレンスに参加したり、チーム医療が効果的に実践できるように多職種と協働しています。

はたけやま あきこ
畠山 明子

糖尿病看護認定看護師とは

糖尿病だけではなく高血圧、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病の説明や改善方法を患者さんとともに考えています。具体的には患者さんにご自身の日常生活を振り返っていただき、日常生活でできる工夫などを見つけていきます。患者さんからは日常生活を振り返ることで、今まで気にしていなかったことを知る機会になったとの言葉を頂いています。また、糖尿病により足先の感覚が鈍ったり、しびれるなどの神経障害がある方に対してはフットケアを行いご自身で足を守る方法や観察方法をお伝えしています。新しく始まったウィークエンド精査入院でも検査の説明、フットケアを行い昨年秋から3月までに20名の方にご利用いただきました。

すなみ こ
角南 ちえ子

がん性疼痛看護認定看護師とは

痛みを抱えながら生活している患者さんに対して、一人ひとりにあった鎮痛薬の使い方や痛みを緩和する方法を考えて実践しています。“痛み”、体に及ぼす苦痛だけではなく、精神的、社会的に影響を及ぼし生活の質を低下させます。そのため早期に適切な症状緩和を行い、「昨日はゆっくり眠れたよ」「トイレまで歩いて行けたよ」と痛みが少しでも和らぎ、その人らしく生活できるように努めています。

おやま さちこ
小山 佐知子

一人一人の状態と立場と気持ちに添った看護を提供します

日生病院看護部には300人余りの看護師(助産師)がいます。主な勤務場所は、外来や手術室、検査室等の中央部門と7つの病棟です。それぞれの部署を紹介します。



あした きょうこ
副院長兼 看護部長 芦田 亨子

外 来

外来では、患者さんを笑顔でお迎えし、患者さん一人一人に優しく丁寧に対応することを心がけております。また、患者さんに安全・安心な診療・看護を受けていただけるよう、「病院の顔」として、日々研鑽を重ねています。

3階病棟

3階病棟では消化器外科・乳腺外科・泌尿器科・婦人科の手術患者さんを主に受け入れております。皆様が安心して手術を受けて頂けるよう、また手術後の痛みや不安が和らぐようにスタッフ一同心がけております。笑顔の多い明るい病棟です。手術を受けられる際は安心してご入院ください。

4階西病棟

4階西病棟は、平均年齢は若干高めですが、明るく元気なスタッフがそろっています。整形外科、眼科、皮膚科中心の病棟で、高齢の患者さんが多いのが特徴です。高齢の方が少しでも入院前の状態に戻るようスタッフ一同がんばっています。

4階東病棟

4階東病棟は、耳鼻科、総合内科、循環器内科のご病気の方が多く、年齢層も若い人から高齢の方まで幅広い年代の方が入院されています。看護師は明るく元気に、患者さんが安全に、また少しでも安楽に入院生活を過ごせるよう努めております。

5階西病棟

5階西病棟は、無菌室を4床備えており、血液悪性新患で化学療法や自己末梢血管細胞移植などの治療を受ける患者さんの看護を中心に、スタッフ全員が協力し支え合いながら身体的・精神的看護にあたっています。

5階東病棟

5階東病棟は循環器内科、神経内科を主とした内科全般の患者さんが入院する病棟です。患者さんはご高齢の方が多くですが、男性看護師1名を含む看護師29名で、お互い協力しながら仕事を行っています。

6階西病棟

6階西病棟は、主に消化器内科・精神科・小児科の方が入院されます。緊急入院の方も多く、急な入院に対して不安をお持ちの方にも、優しく丁寧に、そして迅速に対応するよう、心がけています。

6階東病棟

6階東病棟は産婦人科病棟で、助産師外来や母乳外来など産前産後のケアや腹腔鏡下の手術を受けられる方の看護をスタッフ一丸となつて行っています。日々、女性の身体と気持ちに寄り添った看護の提供、丁寧な指導に努めています。

手術室

手術室は年間約2,800件の手術をしております。手術は婦人科、女性骨盤底センター、外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、泌尿器科、眼科、皮膚科の9つの科です。私たち手術室スタッフは常に、患者さんが安全にそして安心して手術を受けて頂ける事を第一に考えて日々の看護に笑顔で取り組んでいます。

平成27年4月 新入会者



最新情報をご案内します

診療科案内

乳腺外科

に した ゆきひろ
部長：西田 幸弘

乳腺外科は2008年10月に開講しました。当初は西田一人体制でしたが、2010年4月に橋高医師が赴任し二人体制となりました。今年3月をもち長年当科を支えてくれた橋高医師が異動となり阪大より中内医師、専攻医として園延医師、二人の女性医師が赴任し当科も4月から色合いがガラッと変わりました。

週間予定は手術を月曜日、火曜日から金曜日は外来診察にあてております。乳癌は、早期に発見できれば治癒することも期待できるため検診業務にも力を入れており、マンモグラフィ・超音波を当日に行い異常のない患者さんは1日で終了します。異常発

見時にはその場で細胞診・組織診を施行し、外来看護師に介助して貰います。予防医学センターからは多くの検診異常の患者さんの紹介があり、火曜日の午後の診察時には予防医学センター超音波技師が加わり一緒に超音波診断をしています。診察時には平行して薬物療法を施行し、初回導入時は3階西病棟、以降は外来化学療法室で継続しています。薬剤師、各々病棟看護師、化学療法認定看護師と連携し治療にあたっています。

水曜日には、石灰化をマンモグラフィ下に吸引生検すべく放射線科技師と共にマンモトーム生検を施行しています。放射線療法には放射

線照射室、癌性疼痛には緩和チーム、分子標的剤の皮膚障害には皮膚科、骨転移には整形外科、脳転移には神経内科、癌による心因性疾患には精神科等他職種多岐にわたりお世話になり、チーム医療を実践しています。

近年、乳房再建術が主流となり当科でも阪大形成外科より医師を招き再建術を施行しています。また若年患者さんも多く、妊孕性も重要となり婦人科医師と連携し、術後に他院にて受精卵保存を施行し、その後薬物療法施行中の患者さんもいらっしゃいます。そして、大阪で最初に妊娠中の乳癌患者さんに化学療法を施行したのも当科です。

最近では、検診には女性医師希望といわれることも多く、今年度からは対応できますのでご相談ください。

当院小児科は本年(平成27年)4月から常勤医4名(5月からは3名)、非常勤医1名により小児科診療を行っております。

午前は一般外来、午後は専門予約外来です。一般外来はどうしても感染症が多くなりますが、広い外来診療スペースを有効に使って院内感染を抑えるようにしています。午後の外来では、それぞれの専門性を生かしてアレルギー疾患、内分泌代謝疾患、神経疾患、血液疾患の診断・治療・管理の他、予防接種や健康診断を行っております。午後の専門外来は予約制ですが、柔軟に対応いたします。入院は新生児以外は付き添いが必要です。総合病院の強みを生かし、各診療科、臨床検査科、放射線科や薬剤科との連携により迅速正確な診断と治療を心がけています。また、十分な時間をかけて発達評価、栄養指導など総合的に個別の対応ができる小児科もめざしています。

小児科

あか ぎ もとひろ
部長：赤木 幹弘



あなたの近くにいつでも
訪問看護師がいます。

- ♥赤ちゃんからお年寄りまで
- ♥健康に不安があるとき
- ♥最後を家でむかえるために
- ♥退院するとき

訪問看護の 主な内容

- 症状の観察(体温・脈拍・呼吸・血圧)
 - 排泄に関する介助やアドバイス
 - 体を清潔に保つための清拭・洗髪・足浴など
 - 経管栄養・膀胱洗浄などカテーテルの管理
 - 食事に関する介助やアドバイス
 - 床ずれの予防と手当
 - 介護についての相談・アドバイス
 - 生活の中でのリハビリテーション
- ※主治医の指示書に基づいて行います。

訪問看護 ステーション の特色

病状や療養生活を専門家の目で見守り、適確なケアとアドバイスで自立した生活が送れるよう支援します。

- 経管栄養、在宅酸素療法、吸引、在宅点滴注射、人工呼吸器などの医療処置が必要な方の療養生活を支援します。
- 入院時から病院と連携し、在宅生活に向けたスムーズな移行ができるよう相談・支援を行います。
- さまざまな在宅ケアサービスの使い方や介護保険の申請・更新の手伝い等、医療と介護の橋渡しをします。



副看護部長
みず かみ よう こ
水上 洋子

- 病状の悪化や寝たきりになるのを防ぐほか、拘縮予防や機能の回復、嚥下訓練などを行います。また、ベッドや車いす、介護用品の相談等、介護予防や機能回復のお手伝いをします。
- 医療保険・介護保険の両方のサービスが同じステーションで引き続き受けられます。また、他のステーションや医療機関の訪問看護を併用することもできます。
- ご自宅以外の地域にあるグループホームや特定施設、特別養護老人ホームのショートステイなど一定の場合にサービスを提供します。
- 住み慣れた家で最後まで過ごせるように、医師の指示による疼痛管理や症状緩和など適切に対処し、心のケアも行い、ご家族とともに看取りをします。

回数

- 医療保険をご利用の場合：週3日まで
※患者さんの病状に応じて、主治医と相談の上、回数を決定することができます
- 介護保険をご利用の場合：ケアプランに基づく回数

サービス可能な曜日と時間
月曜日～金曜日
午前9:00～午後4:00

(公財)日本生命済生会 日生訪問看護ステーション(別館1階)

〒550-0012 大阪市西区立売堀6丁目7番9号
TEL 06-4390-8822(直通) / FAX 06-4390-8844

TEL 06-6543-3581(大代表) 内線8747 ※不在時は医療生活相談室(内線8160)で対応させていただきます。

日生病院ボランティア募集

日生病院では、病院内で活動していただく『病院ボランティア』を募集しております。初めて訪れる病院では不安な気持ちや戸惑うことも多いと思います。そんな時、ボランティアの皆さんに温かいサポートをしていただければ、患者さんは安心することができます。あなたの優しい気持ちをいかしてみませんか。



病院ボランティアの活動内容

外来フロアで患者さんに、優しい笑顔と温かい言葉でお手伝いしていただいています。

- 病院内の案内
- 診察申込書・問診票などの代筆
- 病院内における車椅子利用者への介助及び誘導
- 移動図書の管理・整理
- 再来受付機の受付のお手伝いや使い方の説明
- 通訳(手話・外国語) 等

病院ボランティア活動の条件

- 心身ともに健康な16歳以上の方
- 患者さんのプライバシーを守れる方
- 日生病院のボランティアの趣旨を理解し、守っていただける方
- 無報酬の活動であることを理解していただける方

活動日と活動時間

- 月曜日から金曜日(土・日・祝日はお休み)
- 8時30分～15時の間で都合のよい時間をお願いします(活動回数及び活動時間に制限はありません)

病院ボランティア手続きと活動までの流れ



お問い合わせ・申し込み先 〒550-0012 大阪市西区立売堀6-3-8 公益財団法人日本生命済生会付属日生病院
あったかサポートセンター 担当:佐々木、西岡 TEL:06-6543-3581(代表)

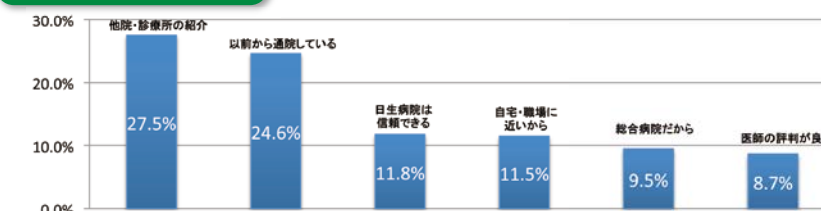
入院患者様 総合満足度 96.2%

(とても・やや満足の合計) 回答数=212名

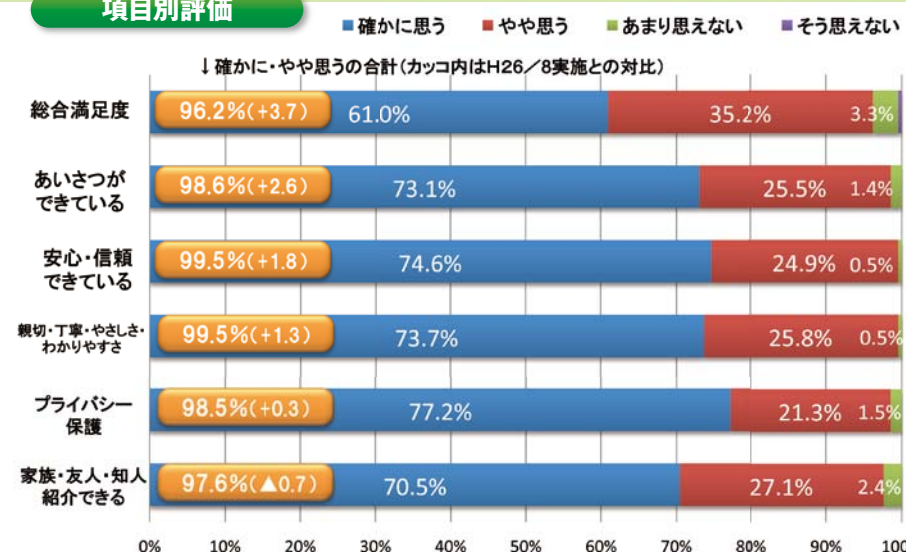
お褒めの言葉

- 看護師さんの対応が良く、看護師さんの笑顔で丁寧な対応で落ち着き、また次回も受診してしまおう。
- 初診者でも安心できる病院であると思います。
- 朝入ってくる時、いつも多くの職員の方が待機して下さっていて対応されておき、感動します。色んな面で考慮がされていてとても安心できます。

当院を選んだ理由



項目別評価



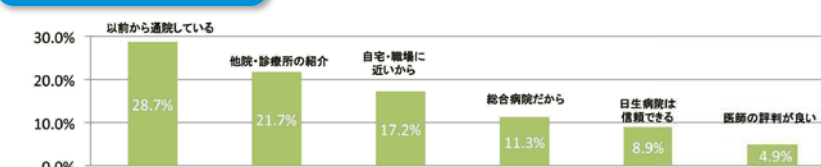
外来患者様 総合満足度 92.9%

(とても・やや満足の合計) 回答数=304名

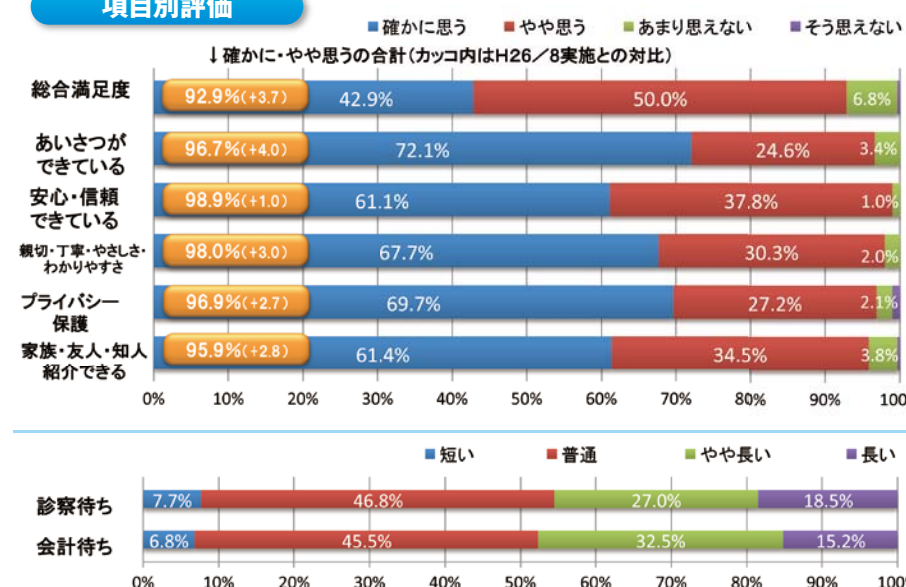
お褒めの言葉

- 4、5年前に比べ、格段の明るさと親切を感じます。これからますます頑張ってください。
- 手術に行く時、歩いて向かって行く途中でも手術室に着いてから眠るまでの間もいつも笑顔で話しかけてくださり気持ちが落ち着く不安もわらいだような気がします。入院中皆さんがしつかりお話を聞いてくださって非常に安心して毎日を過ごせました。おそうじしてくださる方、笑顔で声かけのあと、本当にさりげなくキッチンをやっていたくださる方、「さりげなく」がすごいポイント高いです。快適な入院生活をおくる事ができました。こちらで手術・入院をすることが出来て本当に良かったです。

当院を選んだ理由



項目別評価



ご協力ありがとうございました！
平成26年度第2回 患者様アンケート 結果のご報告！
アンケート期間：平成27年2月23日～2月27日



皮膚科部長：東山 真里

開催しました

平成27年4月19日(日) 14:00~16:00
グランフロント大阪にて、東山医師(皮膚科部長)が市民公開講座で“乾癬の疾患と治療”に関する講演をしました。当日は、約200名の方が出席、熱心に聴講されていました。その講演内容をご紹介します。

共催：大阪乾癬患者友の会、サンケイリビング新聞社、ヤンセンファーマ



“知っていますか？ 乾癬のこと”

日本には約10万人~20万人の患者さんがいると言われています。以前は原因が明らかにされていませんでしたが、最近の研究で免疫が過剰に働くことで乾癬が発症する事が分かってきました。また、生活習慣や食生活なども深く関係しており、お酒やたばこ、肥満や不眠なども症状を悪化させる要因です。

乾癬の中でも尋常性乾癬の方が多く、乾癬性関節炎や乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬等があります。

決して人に移る病気ではありません。症状は、皮膚が厚くなり、白くかさぶたのような鱗屑がぼろぼろと剥かれ落ちたり、ひふが赤く盛り上がるなど、頭皮や四肢、臀部等に現れることが多くかゆみを伴うこともあります。また、皮膚が服に擦れる所が傷つき、そこから乾癬が発症してしまう(ケブネル現象)こともあります。しかし、「人に見られたくない」「どう

したら早く治るのか」とストレスを感じる方も多く治療を疎かにしたり、諦めて悪化される方も少なくありません。乾癬の治療は、日々進歩しています。選択肢はたくさんあります。

乾癬は、すぐに治る病気ではなく、時間と根気がいるのも事実です。主治医と相談しながら、患者さん自身に合った治療を続けることで改善され、症状を抑えることが可能です。どんなことでも主治医と相談し、治療していきましょう。

『知識は力なり』で乾癬について正しい知識を学ぶこと、ご自身の乾癬についてよく知ることは、今後、ご本人が治療をうける上で大きな力になると信じています。



お薬トピックス

『お薬の飲む時間』いつ飲むの？

お薬を貰って薬剤師から説明を受けたことがあると思います。その時に、この薬は、いつ飲むのが正しいのかと疑問に思ったことがないでしょうか？今回は、お薬の飲む時間、食前・食間・食後にいつ説明させて頂きます。

まず食前は、食事の30分前までを指します。次に、食間とは、食事の最中だと思われる方も多いようですが、食事と食事の間という意味で、食事を終えてから約2時間後を指します。最後に食後は、食事が終わって30分までを指します。食前・食間・食後には、それぞれ意味があり、その薬の効果・安全性が保たれるように服用時間が決められています。

例えば、糖尿病の一部の薬では食直前(食事の直前)、骨粗鬆症の薬(主にビスホスホネート系薬)では起床時というふうに、もっと厳密に医師が指定する薬もあります。いずれにしても正しい飲み方をしないと効果がでなかったり、副作用が現れたりすることがありますので、決められた服用時間を守りましょう。何かわからないこと、不安なことがあるときは自己判断で服用時間を変えたりせず、医師・薬剤師に相談しましょう。

薬剤師：平田 貴宏



開催しました

ニッセイ認知症医療介護セミナー

3月14日(土) 日生病院 別館講堂で『認知症の予防と治療』について神経科・精神科部長 高橋 励先生が講演されました。

認知症とは？

脳の神経細胞が壊れることにより、いったん正常発達した記憶など認知機能が全般的に低下し、日常生活に支障が生じた状態を「認知症」と呼びます。現在日本で400万人以上と推定され、住み慣れた環境では支障が出ぬ程度の「軽度認知障害(MCI)」を加えると65歳以上人口の4分の1以上と高齢化を背景に増加しており、もはや私達自身の身近な問題といえます。



神経科・精神科部長：高橋 励

認知症の種類

- ①「アルツハイマー病に伴う認知症」
4大認知症の60%以上を占め、記憶のほか着衣や空間認識の能力が侵されます。
- ②「脳血管性認知症」
脳梗塞・出血・動脈硬化に伴って生じ、20%と減少傾向ですが、①にも合併しやすく、生活習慣による予防が可能です。
- ③「レビー小体型認知症」
幻視やパーキンソン病と共通する運動症状が現れる。
- ④「前頭側頭型認知症」
記憶よりも社会性や行動の変化が目立つため、精神疾患との区別が重要です。



診断について

診断は、まず治療法の異なる病気を区別した上で、脳のハードの障害をMRI・SPECT・脳波などの画像・生理検査で調べ、ソフトの障害を複数の認知機能検査で調べ照合します。

他の病気の合併や原因疾患により、症状のあらわれ方や脳障害の部位・様相が多彩なので、自己チェックの過信は禁物です。また早期介入が有効なことも多く、怖がらず早めに検査を受けましょう。

治療法について

4大認知症自体の根治的な薬物療法は、残念ながらまだありませんが、アルツハイマー型では神経伝達物質の減少を補うタイプ、神経細胞の破壊を抑えるタイプの2系統の抗認知症薬で症状の進行を遅らせます。また、脳血管型では血管の病的状態を改善する内科の治療薬、レビー小体型では抗認知症薬や漢方薬が有効で、運動障害にはパーキンソン病の薬を用います。

非薬物治療では、科学的な知見に基づいて治療方針を立てます。例えばアルツハイマー型では身についた無意識の行動プログラムが侵されにくいという特徴に基づき、なるべく慣れ親しんだ環境や行動は変えないことで脳機能の廃用を防いだり、空間認識能力を補うことで失禁を防ぐなどです。

心理面では、家事を分担することで健康な役割感が期待できます。写真や会話を題材にとり、懐かしい記憶を蘇らせる「回想法」も良い感情を強めます。また「芸術療法」は心の動きを自他に強く意識せしめ、もはや治療のみならず生きることの意味自体にかかわるといえるでしょう。

さらに認知症では周辺症状といって、うつ状態、怒りっぽくなる、なくした物を家族が盗んだと思ひ込む、徘徊など、こころの苦しみや行動面の問題が生じ、精神医学的な対応が必要になります。一方で、介護の主体となるご家族の数制がうつ状態を経験して

おり、介護うつ・介護疲労と呼ばれます。もしも私達が認知症になったならば、難しいことですが病気や負の側面ばかり見ずに「色々な力を持つ人間が、また病気も持っている」と考え、病気に負けず生きる力を高めるように努めたいものです。

アルツハイマー型の予防では、まず脳の健康を高めること、脳血管型認知症の予防、すなわち脳血管障害の予防とかなり重なり、肥満・心疾患・高血圧・糖尿病の予防・治療のために、塩分や動物性脂肪の摂り過ぎ・運動不足・喫煙・過度の飲酒を避けます。さらに糖尿病は脳血管への悪影響のみならず、症状を悪化させる可能性があります。また、 ω -3系脂肪酸、ビタミンC・ビタミンE・葉酸をバランス良く摂る食生活も効果がみとめられてきています。

次に脳の機能を高めるには、スリルと充実感のある仕事、読書、ゲーム(いわゆる脳トレーニング)などの知的活動・適度な精神的ストレスが有効とされます。酸化ストレスを増やさぬ強さの運動、特に有酸素運動は認知機能を高めます。また3つ以上の外国語を話す習慣があると認知症の発症が遅れることが知られ、脳の活動モードや多重課題の研究が重要と考えています。

これらの防御因子と、異常たんぱく質蓄積の双方を可視化する評価方法が確立すれば、アルツハイマー型認知症の発症しやすさや進行時点をより科学的に診断できるようになるかもしれません。

SAWATARI 猿渡レディースクリニック(福島区)

さわたり よしはる
猿渡 善治先生 標榜科 産婦人科、内科

昭和38年開業の地域に密着した、産婦人科・内科クリニックです。

産科に関しては、現在、分娩の取り扱いを休止いたしておりますが、日生病院等、他院で分娩予定の方や、里帰り分娩される方の妊婦健診を積極的に行っております。

婦人科に関しては、子宮がん・乳がん検診をはじめ、月経不順・不妊症・更年期障害の相談など、幅広い診療を行っております。

日生病院とは、検査や診療の紹介などスムーズな連携を行っていただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

〒553-0007
大阪市福島区大開1-2-4
電話:06-6461-9059
<http://www.sawatari-clinic.net/>

休診日: 木・土曜日午後、日祝日
アクセス: 地下鉄千日前線野田阪神駅、
阪神電車野田駅下車 出口より徒歩3分
JR東西線海老江駅下車 出口より徒歩5分
JR環状線野田駅下車 出口より徒歩8分

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:00	○	◎	○	○	○	○	△
午後	4:30~ 7:30	○	○	○	△	○	△	△

なかむら皮フ科(西区)

なかむら としあき
中村 敏明先生 標榜科 皮膚科、アレルギー科

当院は、皮膚科、アレルギー科のクリニックです。赤ちゃんからお年寄りまで幅広く診療いたします。皮膚科専門医として、水虫やしっしん、アトピー性皮膚炎などの皮膚の病気のみならず、アレルギー専門医としてアレルギー性鼻炎や花粉症の初期治療も行っております。当院で行っている検査は、化粧品ぶれや金属アレルギーのパッチテスト、食物アレルギー検査(採血、プリックテスト)、皮膚生検などがあり、治療では皮膚腫瘍切除などの手術や、紫外線照射器を使った専門的な治療、巻き爪の治療も行っています。また、重症の方や精密検査が必要な方は、日生病院皮膚科をはじめ各科に御紹介させていただきます。皮膚に関してのお悩みの方は、ぜひ当院にお越しください。

〒550-0005
大阪市西区西本町3-1-1
岡崎橋セントラルビル2階
電話:06-6537-5232
<http://nakamuraderma.jp>

休診日: 土曜日午後、木曜日・日祝日
アクセス: 地下鉄中央線・千日前線
阿波座駅下車 ①番出口より徒歩1分

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:30~13:00	○	○	○	△	○	○	△
午後	4:30~ 7:00	○	○	○	△	○	△	△

福中クリニック(西区)

ふくなか みちお
福中 道男先生 標榜科 呼吸器内科、内科

平成6年から旧山梨病院に勤め、20年の間、日生病院をはじめ近隣の先生方には大層お世話になりました。前院の外來診療を一部継承し、昨年11月に阿波座駅の近くに内科クリニックを開業しました。

現在は2名の医師で、呼吸器内科を中心に診療しており、X線・エコー・スパイロメーター・心電図等の検査が可能で、健診や産業医活動も積極的に行っています。微力ながら、今後も地域医療の発展のため努力したいと思っています。

〒550-0004
大阪市西区靱本町3-3-3
サウザンド岡崎橋ビル2階
電話:06-6136-7113
事前に電話で予約を承っております
<http://fukunaka-cl.com/>

休診日: 水・土曜日午後、日祝日
アクセス: 地下鉄中央線・千日前線阿波座駅下車
①番出口より徒歩2分(旧山梨病院から徒歩5分)

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:30~12:00	○	○	○	○	○	○	△
午後	3:00~ 5:00	○	○	△	○	○	△	△

開放型病院登録医紹介

Team Nissay

開放型病院登録医とは
病院の医師と連携しながら共同で患者さんに最良の医療を提供するため、病院に登録していただいている医師、診療所の先生のことです。日生病院では、380名の先生方に登録していただいています。
(平成27年4月末現在)

ナースの奮闘記

一期一会を大切に

私の勤める4階西病棟は、整形外科、眼科、皮膚科が主科となり、手術・リハビリテーション期の患者さんが主に入院されています。

骨折などは突然の事故の為、患者さんやご家族の心身の動揺が大きく、不安も強いので、安心して入院生活を始められるよう、スムーズな処置とともに、

寄り添えるような言葉かけを心懸け、援助を行っています。

患者さんが回復し、笑顔で自宅やもとの療養の場へ戻っていただくことの喜びはとて大きいですが、必ずしも容易なことではありません。そのため、チーム医療が特に重要となり、医師、看護師、リハビリスタッフ、MSW、その他のコ・メディカルスタッフとの連携により円滑な医療が提供できるよう努めています。

私たちにとっては日常的な出来事であっても、患者さんやご家族にとつては、入院という出来事は世代の大イベントです。患者さんひとりひとりが病室で過ごされる時間を少しでも快適に過ごしていただくために、一期会を大切に、丁寧な仕事を積み重ねられるように、今後も研鑽に努め、頑張りたいと考えています。

患者さんが回復し、
笑顔で戻っていただく
ことの喜びは
とても大きいです！



4階西病棟 高熊 俊恵

栄養管理室通信

病院給食での選択食

管理栄養士 糖尿病療養指導士: 出口 暁子

入院中の食事は、医師の指示のもと依頼された食事を提供しています。

メニューの内容は季節に応じて変更していますが、制限が必要な特別食以外の常食の患者さんには、毎日、昼食と夕食に2種類の献立から、好みのメニューを選択して頂いています。

御希望の献立を毎日しっかり摂取して頂き、少しでも早く体力を回復するよう願っています。

栄養管理室

